我々のカメラ

吉川徳男

に掛けた写真の写真などを眺めてある時、昔々は大仏目鏡と比較に並べた人物との比較が割合小さく、即ち人間が余り大きいのに反して大仏がそれ程大きく感じられない事に気がつくであろう。

私が自分のカメラで撮して見ても矢張り其通りになつてしまう。こんな時にライカなどにセンチレンズの代りにセンチ程度を以て人物や大仏から遠かに遠ざかつた位置で撮して見ると、人物と大仏の比例が余り甚しく異なる。これは普通の距離に於ては人間の眼にも感じたが、大仏と石段と此段との関係に於てもアレホトレンズの効果をよく発揮出来ると思つたのである。此の三種の被写体を二つの箱に入れやうと試みるならば、そのいづれか一つが落ちて特殊されて大きく写らざるを得ない。もしかような場合アレホトレンズを用ひて相当遠方にさがつて写すならば全部の効果が無理なく保てるであらう。

然しテンホーレンズはさう一般の人が持つては居ないであろう。それ故これと同様な効果を挙げる為ならば、プロニー判かそれ以上の大型カメラと別にセ判又はライカ以下の小型カメラと二つを利用して御覧遊ばせ。

例へば渋谷の大仏に行つて見るとか、たゞスケッチの為ならばカメラ個有のレンズ一つでも結構であるが、そこの記念写真屋の店の前

ライカフイルム用ステレオカメラ

米国製ステレオナリストカメラ（ステレオ）では簡単にも調したが、この3ヶ入りストでライカフイルムを使用するカメラは世界中に現在三種あることになる。

ステレオナリスト
ルンジSSステレオ
ゲエラスコープ四〇型

この三者の中、リアリストが最も近代カメラの影響を受けて製作されてゐるが、三者を比較してみると、スイス製ルンジ、フランス製グエラスコープも共に夫々特徴を持つてゐて、ランクづけることは難かしい。

米国に於て、グエラスコープは三五〇ドル四五〇ドルであるが時と市場されてゐないらしく、ルンジはプリンター、グエープ1の金部を以て一セットとしてから何れも戦前五百ドルであつたから何れもリアリストの約二倍の価格。

ゲエラスコープ四〇型は型地

ライカフイルム用ステレオカラメの比較

	ルンジSS	ステレオグエラスコープ40	ステレオナリスト
重量	800グラム	900グラム	950グラム
幅	153ミリ	165ミリ	170ミリ
高さ	53	65	60
厚さ	48	48	40
レンズ	3.5—35ミリ宮崎製12.5枚	3.5—40ミリ玉手商会16枚	3.5—35ミリコーデット四群四枚
シャッター	調速機付ボデー組込	調速機付ボデー組込	調速機付ボデー組込
最高速度	1/1000秒	1/1000秒	1/1000秒
最小絞り	B.25—300	T.B.1—250	T.B.1—150
ファインダー	距離計連動ブリリアント式	距離計連動ブリリアント式	距離計連動ブリリアント式
視野枠	上下左右を縁マスク	上下左右を縁マスク	上下中立右を縁マスク
視差修正	自動	自動	手動
焦点調節	距離計連動	距離計連動	距離計連動
撮影コマ数	63	63	63
撮影コマ寸法	18/18×18/18ミリ	18/18×18/18ミリ	24×25ミリ

◇

レンズ附の価値なものであるが外にカメラに対する特別の要求は無い。

然し観光の地だけに各自の記念撮影などの場合が多いから、三脚とセルフタイマーぐらいは携へて歩くのが例外である。

フィルターは黄色を選ぐらいの外に、10.5センチ焦距のレンズを以つて矢張りライカ判に写すのであるから、価格の差を現比べると、其パースペクテブは甚だ違つて居ることは明らかである。

もう一つあれば普及はなく、レンズフードは持つた方が無論よい。フイルムや之等の附属品は雑音で攻めて

◇

ダロームと調事の近代的な美しさを持つリヤイルの新製品であるのに対してケルンは黒塗りとニクケル鍍金と黒革仕上となつてゐる。

ナザイシはリアリストに常能なあげてもよろしいだらう。送験型で提し易くもあり、最小型でもあろ。

但し何れも我国で現来められないが、既に再三書いてゐるやうにカラーフイルムの進歩は著るしくステレオの急歩と相関性を持つてゐるから、我国のカメノメーカーし」社位はステレオの製作に乗り出してもよろしいやうに思ふ。（終）